



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス
コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 渡邊 一治

TEL 03-5292-8000

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	118,874	16.0	14,814	89.6	16,543	65.6	10,916	110.8
26年3月期第3四半期	102,473	△0.3	7,815	—	9,991	—	5,179	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 14,578百万円 (86.8%) 26年3月期第3四半期 7,804百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	94.70	94.55
26年3月期第3四半期	44.96	44.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	229,014	139,928	60.7	1,205.89
26年3月期	216,617	127,676	58.3	1,095.78

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 139,032百万円 26年3月期 126,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000 ~160,000	△3.2 ~3.2	11,000 ~16,000	4.3 ~51.8	11,000 ~16,000	△12.2 ~27.6	7,000 ~10,500	6.1 ~59.1	60.73 ~91.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	115,602,996 株	26年3月期	115,575,696 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	308,911 株	26年3月期	306,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	115,276,416 株	26年3月期3Q	115,186,968 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成27年2月4日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は118,874百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は14,814百万円(前年同期比89.6%増)、経常利益は16,543百万円(前年同期比65.6%増)となりました。

なお、土地等の売却が複数あったことから、固定資産売却益1,394百万円、固定資産売却損708百万円を特別損益として計上したことなどにより、四半期純利益は10,916百万円(前年同期比110.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第3四半期連結累計期間は、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」やスマートフォン向けゲーム「ドラゴンクエストモンスターズ スーパーライト」が引き続き好調に推移した他、当年度にサービスを開始したスマートフォン向けゲーム「スクールガールストライカーズ」、「ファイナルファンタジー レコードキーパー」、「乖離性ミリオンアーサー」なども好調に推移しました。

また、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、「キングダムハーツ HD 2.5 リミックス」など新作タイトルの販売が増加したことや昨年度発売したタイトルのリピート販売が好調であったことに加え、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」及び「ドラゴンクエストX」の運営が好調に推移しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は75,456百万円(前年同期比33.4%増)となり、営業利益は14,105百万円(前年同期比107.6%増)となりました。

○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、アミューズメント機器の販売が減少した他、アミューズメント施設運営において消費税率の引き上げによる影響がありましたが、効率的な店舗運営に努め、業績は堅調に推移しております。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は31,246百万円(前年同期比13.6%減)となり、営業利益は3,250百万円(前年同期比25.9%減)となりました。

○出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、アニメ化などメディアミックスの効果により、コミックスの売上が順調に推移しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は9,252百万円(前年同期比22.6%増)となり、営業利益は2,678百万円(前年同期比60.8%増)となりました。

○ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、引き続き、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は3,120百万円(前年同期比16.3%増)となり、営業利益は1,058百万円(前年同期比64.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は187,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,368百万円増加しました。これは主に現金及び預金が1,882百万円及びコンテンツ制作勘定が16,508百万円増加したこと、流動資産その他が4,446百万円減少したことによるものであります。固定資産は41,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,971百万円減少しました。これは、主に投資その他の資産が2,862百万円増加したこと、有形固定資産が4,969百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、229,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,397百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は82,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,092百万円増加しました。これは主に流動負債その他が3,727百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が966百万円及び賞与引当金が1,188百万円減少したことによるものであります。固定負債は6,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,947百万円減少しました。

この結果、負債合計は、89,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は139,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,252百万円増加しました。これは主に四半期純利益10,916百万円、剰余金の配当3,458百万円、為替換算調整勘定の増加3,724百万円及び退職給付に関する会計基準等の適用による増加1,683百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.7%（前連結会計年度末は58.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・上位集中が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等の所謂スマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化に対応したコンテンツ開発と収益機会の多様化を図ることによって、強固な収益基盤を確立する取り組みを進めております。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,811百万円減少し、利益剰余金が1,683百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,367	117,249
受取手形及び売掛金	22,110	22,753
商品及び製品	2,013	2,574
仕掛品	700	5
原材料及び貯蔵品	433	336
コンテンツ制作勘定	20,556	37,065
その他	12,573	8,127
貸倒引当金	△151	△138
流動資産合計	173,604	187,973
固定資産		
有形固定資産	19,917	14,947
無形固定資産	10,835	10,971
投資その他の資産	12,259	15,122
固定資産合計	43,012	41,040
資産合計	216,617	229,014

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,563	10,597
短期借入金	6,852	7,481
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	2,980	2,769
賞与引当金	1,771	583
返品調整引当金	4,609	4,805
店舗閉鎖損失引当金	251	160
資産除去債務	3	0
その他	17,475	21,203
流動負債合計	80,508	82,600
固定負債		
役員退職慰労引当金	178	148
店舗閉鎖損失引当金	383	299
退職給付に係る負債	4,425	2,225
資産除去債務	807	960
その他	2,636	2,850
固定負債合計	8,432	6,484
負債合計	88,940	89,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,368	15,395
資本剰余金	44,607	44,635
利益剰余金	71,298	80,440
自己株式	△870	△874
株主資本合計	130,404	139,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253	191
為替換算調整勘定	△4,780	△1,056
退職給付に係る調整累計額	432	299
その他の包括利益累計額合計	△4,095	△564
新株予約権	348	368
少数株主持分	1,018	527
純資産合計	127,676	139,928
負債純資産合計	216,617	229,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	102,473	118,874
売上原価	59,754	63,658
売上総利益	42,718	55,215
返品調整引当金戻入額	4,618	4,786
返品調整引当金繰入額	3,213	4,402
差引売上総利益	44,123	55,599
販売費及び一般管理費	36,308	40,784
営業利益	7,815	14,814
営業外収益		
受取利息	82	98
受取配当金	5	8
為替差益	2,072	1,762
雑収入	126	132
営業外収益合計	2,288	2,001
営業外費用		
支払利息	68	52
支払手数料	39	39
移転関連費用	—	173
雑損失	3	7
営業外費用合計	111	273
経常利益	9,991	16,543
特別利益		
固定資産売却益	2	1,394
投資有価証券売却益	24	82
新株予約権戻入益	33	7
受取補償金	351	—
特別利益合計	411	1,484
特別損失		
固定資産売却損	7	708
固定資産除却損	85	194
コンテンツ評価損	1,690	—
関係会社整理損	—	313
その他	85	205
特別損失合計	1,869	1,422
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	8,534	16,604
匿名組合損益分配額	13	132
税金等調整前四半期純利益	8,521	16,472
法人税、住民税及び事業税	1,193	3,573
法人税等調整額	2,137	1,939
法人税等合計	3,331	5,513
少数株主損益調整前四半期純利益	5,190	10,958
少数株主利益	11	41
四半期純利益	5,179	10,916

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,190	10,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267	△61
為替換算調整勘定	2,347	3,814
退職給付に係る調整額	—	△132
その他の包括利益合計	2,614	3,620
四半期包括利益	7,804	14,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,686	14,446
少数株主に係る四半期包括利益	118	131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,545	36,163	7,351	2,411	102,473	—	102,473
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6	—	197	270	474	△474	—
計	56,552	36,163	7,549	2,682	102,947	△474	102,473
セグメント利益	6,796	4,388	1,665	642	13,492	△5,677	7,815

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,677百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△5,702百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	75,449	31,246	9,219	2,958	118,874	—	118,874
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7	0	32	161	201	△201	—
計	75,456	31,246	9,252	3,120	119,075	△201	118,874
セグメント利益	14,105	3,250	2,678	1,058	21,093	△6,278	14,814

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,278百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△6,304百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による増資)

当社が平成22年2月4日に発行した2015年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の一部について、平成27年1月19日から20日付で新株予約権の行使がありました。当該権利行使の概要は次のとおりであります。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) 発行した株式の種類及び株式数 | 普通株式 6,615,200株 |
| (2) 増加した資本金 | 8,269百万円 |
| (3) 増加した資本準備金 | 8,269百万円 |

これにより、平成27年1月31日現在の普通株式の発行済株式数は122,218,196株、資本金は23,664百万円、資本準備金は52,899百万円となりました。

(2015年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の償還)

当社が平成22年2月4日に発行した2015年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債は、以下のとおり償還しました。

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 償還日 | 平成27年2月4日 |
| (2) 償還事由 | 満期償還 |
| (3) 償還の内容 | 償還前残存額面総額 18,462百万円 |
| | 償還資金 自己資金 |